

平成28年度 入退院支援連携デザイン事業

実務者（多職種）研修会（中部圏域）

日 時 : 平成29年2月4日（土）10:30～16:30
場 所 : 嘉手納町中央公民館 大ホール
参 加 者 : 233人
主 催 : 沖縄県・一般社団法人医療ソーシャルワーカー協会
対 象 : 多職種（市町村職員、保健所職員、医師会職員、全医療機関の退院支援部門責任者・医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師、介護支援専門員、訪問診療医・訪問看護師、リハビリ職等）

プログラム 講演① 「患者のくどう生きるか」を支える支援について」
講師 沖縄大学 富樫 八郎 氏

講演② 「在宅医療・介護連携事業に係る制度説明と沖縄県における取組状況について」
講師 沖縄県高齢者福祉介護課 座嘉比 照子 氏

講演③ 「入退院支援連携デザイン事業について」
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口 美智子 氏

質疑応答

シンポジウム 「地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題
～多職種間の相互理解を深め、相談し合える関係づくりをめざして～」

座長 富樫 八郎氏（沖縄大学 教授）
講師 岸本 和子氏（沖縄県立中部病院 看護師長）
秦 克之氏（中頭病院 医療ソーシャルワーカー）
新垣 俊氏（介護支援事業所さんだん花 主任介護支援専門員）
玉城 亮氏（翔南病院 言語聴覚士）
町田 ひなみ氏（訪問看護ステーションのぞみ 訪問看護師）
佐久田 育子氏（うるま市地域包括支援センター 保健師）

ワークショップ 「わたしの採点票～地域包括ケアシステムにおける“わたし”の役割を考える～」
チーフファシリテーター 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 石郷岡 美穂 氏

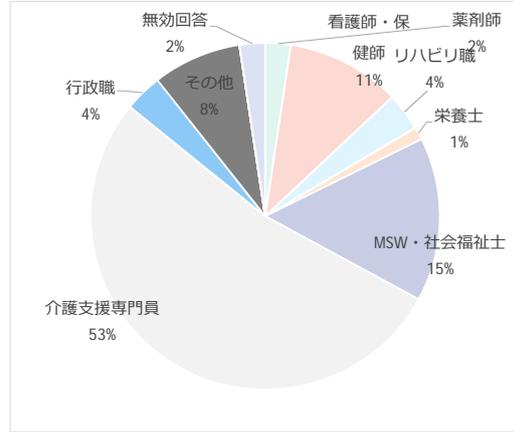
まとめ 沖縄大学 富樫 八郎氏

参加者	233
回答者数	85
回答率	36.5%

I あなたのことについて教えてください

1. 職種を教えてください(実務職種1つ)

Q	職種	件数	割合
1	医師	0	0%
2	薬剤師	2	2%
3	看護師・保健師	9	11%
4	リハビリ職	3	4%
5	栄養士	1	1%
6	MSW・社会福祉士	13	15%
7	介護支援専門員	45	53%
8	行政職	3	4%
9	その他	7	8%
99	無回答	0	0%
999	無効回答	2	2%
	合計	85	100%

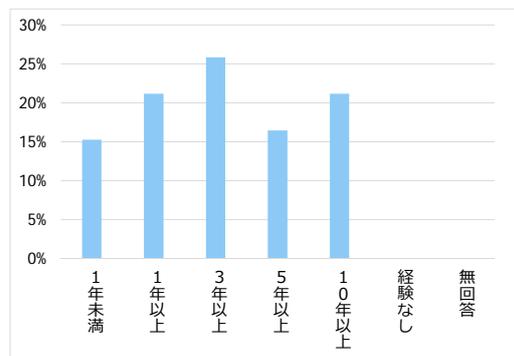


その他詳細

・ PSW	1
・ 介護相談員	1
・ 事務	1
・ 生活相談員	3
・ 相談員	1

2. 現任業務の経験年数について教えてください

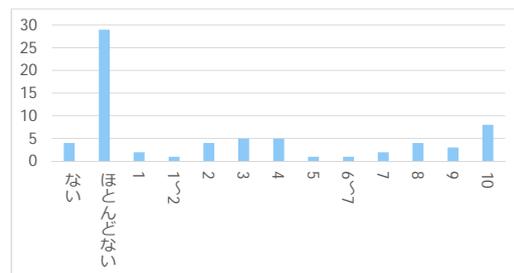
Q	経験年数	件数	割合
1	1年未満	13	15%
2	1年以上	18	21%
3	3年以上	22	26%
4	5年以上	14	16%
5	10年以上	18	21%
6	経験なし	0	0%
99	無回答	0	0%
	合計	85	100%



3. あなたの年間新規相談件数のうち、在宅移行の相談はありますか？

およそ何割くらいですか？

Q	在宅移行の相談	件数	割合
1	ある	51	60%
2	ほとんどない	29	34%
3	ない	4	5%
99	無回答	1	1%
	合計	85	100%

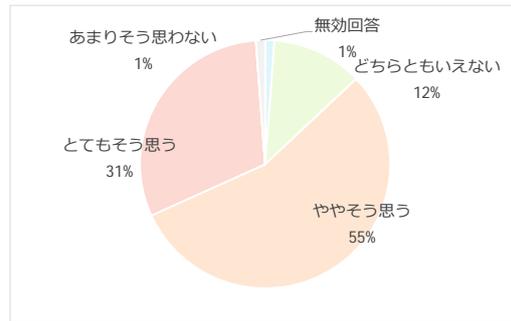


II 本日のプログラムについて伺います

1. 内容について、理解できましたか？

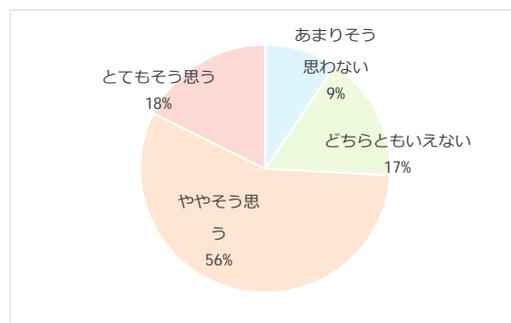
講演①：患者の〈どう生きるか〉を支える支援について

Q 1	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	1	1%
3 どちらともいえない	10	12%
4 ややそう思う	47	55%
5 とてもそう思う	26	31%
99 無回答	0	0%
999 無効回答	1	1%
合計	85	100%



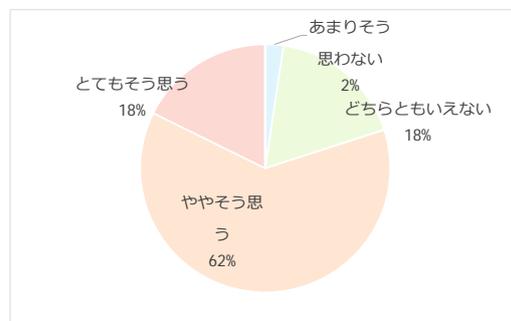
講演②：在宅医療・介護連携事業に係る制度説明と沖縄県における取組状況について

Q 2	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	8	9%
3 どちらともいえない	14	16%
4 ややそう思う	48	56%
5 とてもそう思う	15	18%
99 無回答	0	0%
合計	85	100%



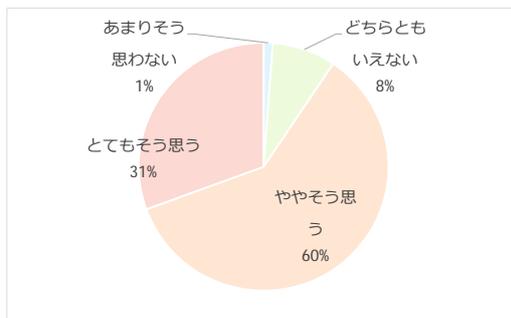
講演③入退院支援連携デザイン事業について

Q 3	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	2	2%
3 どちらともいえない	15	18%
4 ややそう思う	53	62%
5 とてもそう思う	15	18%
99 無回答	0	0%
合計	85	100%



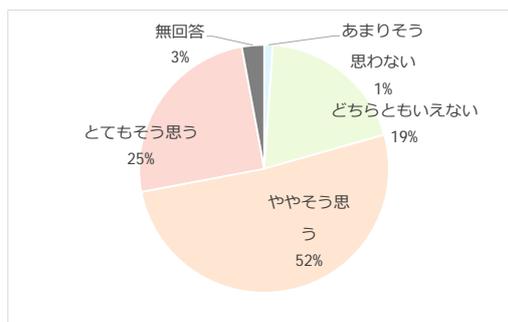
シンポジウム：地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題について

Q 4	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	1	1%
3 どちらともいえない	7	8%
4 ややそう思う	51	60%
5 とてもそう思う	26	31%
99 無回答	0	0%
合計	85	100%



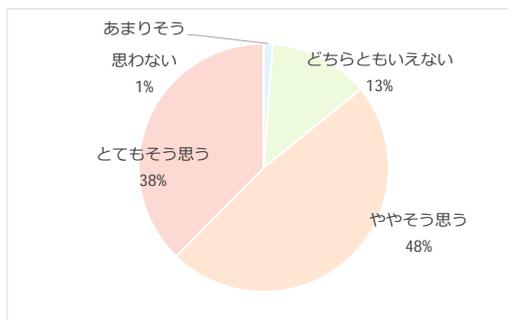
利用者の自立と尊厳を支える質の高い入退院支援連携業務の実践方法について

Q 5	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	1	1%
3 どちらともいえない	17	20%
4 ややそう思う	45	53%
5 とてもそう思う	22	26%
99 無回答	0	3%
合計	85	103%



地域の特性に応じて、切れ目のない支援体制を構築するには、多職種研修は有効である

Q 6	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	1	1%
3 どちらともいえない	11	13%
4 ややそう思う	41	48%
5 とてもそう思う	32	38%
99 無回答	0	0%
合計	85	100%

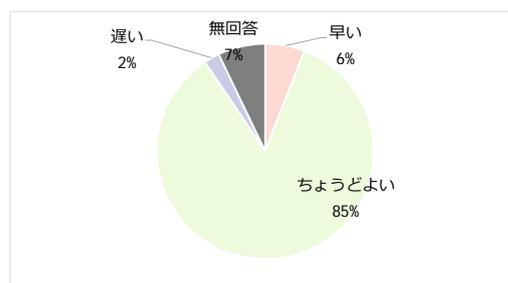


2. プログラムの内容で特に参考になったことについて、ご感想・ご意見があれば教えてください

- ・ 「自分の限界を知る」とのとし先生の言葉良かった
- ・ グループワークで皆がどのような点（具体的・かつ身近な）に問題意識をもっているのかを聞くことができた
- ・ 各専門の方の意見が聞けて良かったです
- ・ 質と量の評価に関して、CMやDr、関連する関係者「自身」の専門職としての“自覚=人格・質”も、深くほり下げてから取り組むべきだと実感しています
- ・ 多職種の業務内容や課題が聞けて参考になった（シンポジウム）
- ・ 多職種の考え方が理解できた。目的を再認識すること大事と思いました
- ・ 富樫先生の講演内容すべて

3. 研修日程、時間はいかがでしたか？

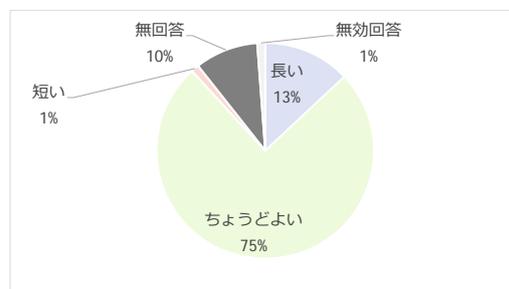
Q 1 日程	件数	割合
1 早い	5	6%
2 ちょうどよい	72	85%
3 遅い	2	2%
99 無回答	6	7%
合計	85	100%



自由記載

- ・ インフルエンザ流行のため
- ・ レセ期間なので5~15日頃がいい
- ・ 月初めはどうしても忙しいので真ん中くらいがいいです
- ・ 月初めはレセプト業務で忙しい

Q 2	時間	件数	割合
1	長い	11	13%
2	ちょうどよい	64	75%
3	短い	1	1%
99	無回答	8	9%
999	無効回答	1	1%
合計		85	100%



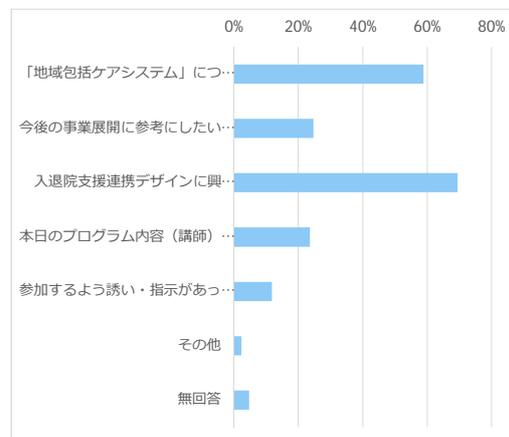
自由記載

- ・ プログラムが短い時間で区切られ、休憩もあり、良いと思います
- ・ 開始時間が早くても良い
- ・ 午前か午後の半日が集中できてよい
- ・ 半日くらいが参加しやすい
- ・ 半日にしてほしい

4. 本研修に参加された動機について教えてください（複数選択可）

Q	動機	件数	割合
1	「地域包括ケアシステム」について学びたいから	50	59%
2	今後の事業展開に参考にしたいから	21	25%
3	入退院支援連携デザインに興味・関心があるから	59	69%
4	本日のプログラム内容（講師）にひかれたから	20	24%
5	参加するよう誘い・指示があったから	10	12%
6	その他	2	2%
99	無回答	4	5%
合計		166	195%

*回答者に占める割合



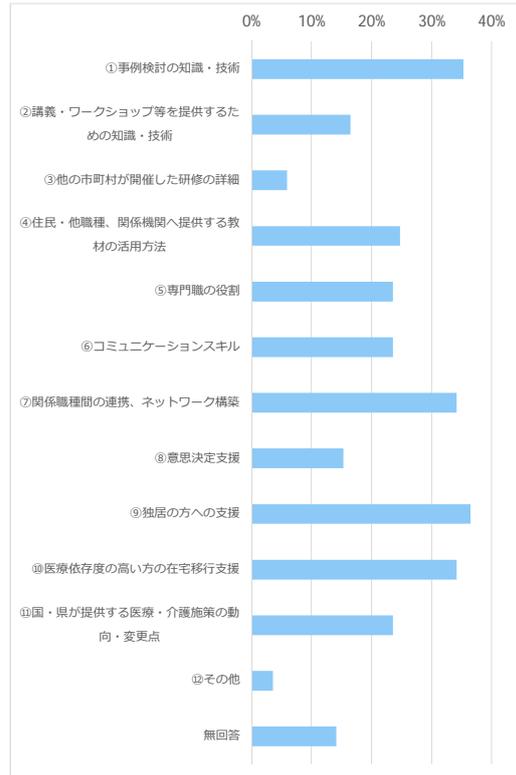
その他詳細

- ・ 案内FAX
- ・ 利用者のよりよい支援のため勉強したくて。入退院が多いため

Ⅲ 今後研修会で取り上げてほしいテーマに○をつけてください
(複数選択可、一番受けたいテーマに◎)

Q	テーマ	件数	割合
1	①事例検討の知識・技術	30	35%
2	②講義・ワークショップ等を提供するための知識・技術	14	16%
3	③他の市町村が開催した研修の詳細	5	6%
4	④住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法	21	25%
5	⑤専門職の役割	20	24%
6	⑥コミュニケーションスキル	20	24%
7	⑦関係職種間の連携、ネットワーク構築	29	34%
8	⑧意思決定支援	13	15%
9	⑨独居の方への支援	31	36%
10	⑩医療依存度の高い方の在宅移行支援	29	34%
11	⑪国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	20	24%
12	⑫その他	3	4%
13	無回答	12	14%
	合計	247	291%

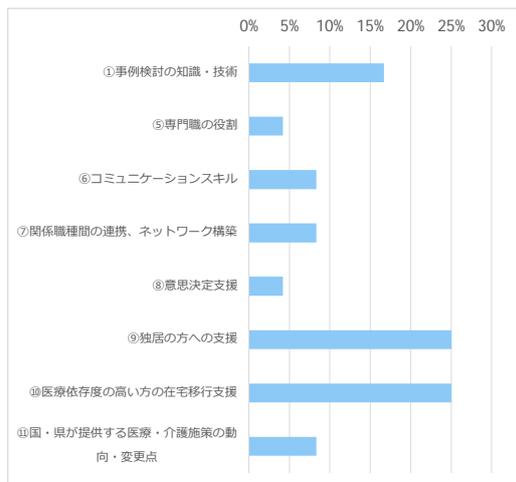
* 回答者に占める割合



その他詳細

- ・ 実施していく事
- ・ 生活相談員のための研修
- ・ 入院時連携の連携（精神科）

Q	一番受けたいテーマ	件数	割合
1	①事例検討の知識・技術	4	17%
5	⑤専門職の役割	1	4%
6	⑥コミュニケーションスキル	2	8%
7	⑦関係職種間の連携、ネットワーク構築	2	8%
8	⑧意思決定支援	1	4%
9	⑨独居の方への支援	6	25%
10	⑩医療依存度の高い方の在宅移行支援	6	25%
11	⑪国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	2	8%
	合計	24	100%



IV その他、全体を通してのご感想・ご意見などありましたらご記入ください。
ご協力ありがとうございました。

- ・ ただ病院側が知りたい点。介護側が何を知りたいのかももう少し具体的に知りたかったです
- ・ とても良い機会になりました。他の地域の情報が勉強になりました
- ・ 情報交換もでき、有意義でした。ありがとうございました
- ・ 多職種と顔を合わすととても良い機会でした。全体的に良い研修でした。ケアマネ協会地区支部としての運営の仕方の参考になりました
- ・ 多職種より、色々な意見・視点が聞けて勉強になりました
- ・ 理想と現実のギャップを痛感しました。MSWの居る地域と、小規模・個人事業所との温度差が連携の取れない困難な現代（現状）社会である事が、無視されているのだと確信した。だから解決しないのだと感じた